



久留米市セーフコミュニティ 全体概要説明



福岡県久留米市 協働推進部安全安心推進課
セーフコミュニティ主幹 柳 秀昭



1 久留米市の概要



1-1.地勢



- 面積: 229.96km²
- 人口: 302,667人
- 人口密度: 1,316.2人/km²
(2022年8月1日現在)



1-2.全ての季節が美しいまち くるめ



400品種2600種で彩るバラ



色鮮やかな久留米つつじ



秋空に映えるコスモス



寒空に凛と咲く久留米つばき



1-3.食通！グルメのまち くるめ



白濁したスープが特徴久留米ラーメン



鳥・牛・豚の
久留米焼きとり



「日本3大酒どころ」久留米の銘酒



1-4.文化芸術を育むまち くるめ



全国にある水天宮の総本山・水天宮



粋な渋みを織り成す久留米絣



自動車工業の礎を築いたゴム産業



1-5.安心、元気な医療のまち くるめ



医師数・医療サービスは日本トップクラス



久留米市の医療体制

●人口10万人あたりの医師数

全国2位

●人口10万人あたりの産婦人科
医・小児科医数

政令・中核市で1位

久留米市ドクターカー



久留米大学病院高度救命センター
ドクターヘリ

●救命救急センター数

2ヶ所（久留米大学病院／聖マリア病院）

●救急搬送時間

26.7分・・・政令・中核市で2位

※全国平均40.6分＜久留米広域消防本部調べ＞



＜厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」＞2020年12月31日現在



2 セーフコミュニティの歩み

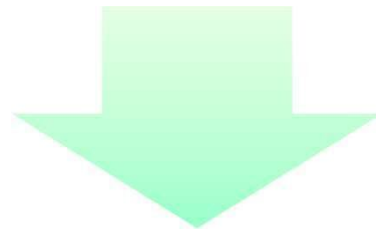


2-1.セーフコミュニティに取り組むに至った背景



社会環境の変化

- ◆地方分権・地域主権の進展
- ◆市民ニーズの多様化・高度化
- ◆市民活動の活発化



- 市民の参加・参画をさらに促進するため・・
- 地域の課題や市民 ニーズに的確に対応し、地域の実情にあったまちづくりを進めるため・・

これからは「協働のまちづくり」が重要



2-2.セーフコミュニティに取り組むに至った背景



地域の課題

- ◆人口減少と人口構造変化
- ◆事故、犯罪・暴力事件への不安
- ◆コミュニティ意識の変容
- ◆大規模災害への不安

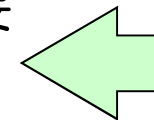


安全・安心な市民生活の確保

- 安全で安心な暮らしは市民共通の願い
- 実現に向けて行政をはじめ
市民や様々な団体の連携が必要



協働の
まちづくり



セーフコミュニティ



2-3.これまでの主な経過



時 期	内 容
2011年7月	セーフコミュニティ取組宣言
2011年11月	セーフコミュニティ推進協議会設置
2012年3月～8月	8つの対策委員会、外傷等動向調査委員会を順次設置
2012年10月	認証事前指導
2013年8月	認証現地審査
2013年12月	セーフコミュニティ認証取得、式典開催
◇ ◇ ◇ 取組の推進 ◇ ◇ ◇	
2017年2月～4月	各対策委員会の取組効果と課題の確認、具体的施策の変更
2017年10月	再認証事前指導
2018年7月	再認証現地審査
2018年12月	セーフコミュニティ再認証取得、式典開催





3 7つの指標に基づく取組



3-1.指標1 分野の垣根を越えた協働による推進組織



2011年11月設置
会長：久留米市長
委員：57団体58名

外傷等動向調査委員会

セーフコミュニティ推進協議会

重点取り組み分野の対策委員会

交通安全	児童虐待防止	学校安全	高齢者の安全	防犯	DV防止	自殺予防	防災
------	--------	------	--------	----	------	------	----

支援

日本セーフコミュニティ推進機構

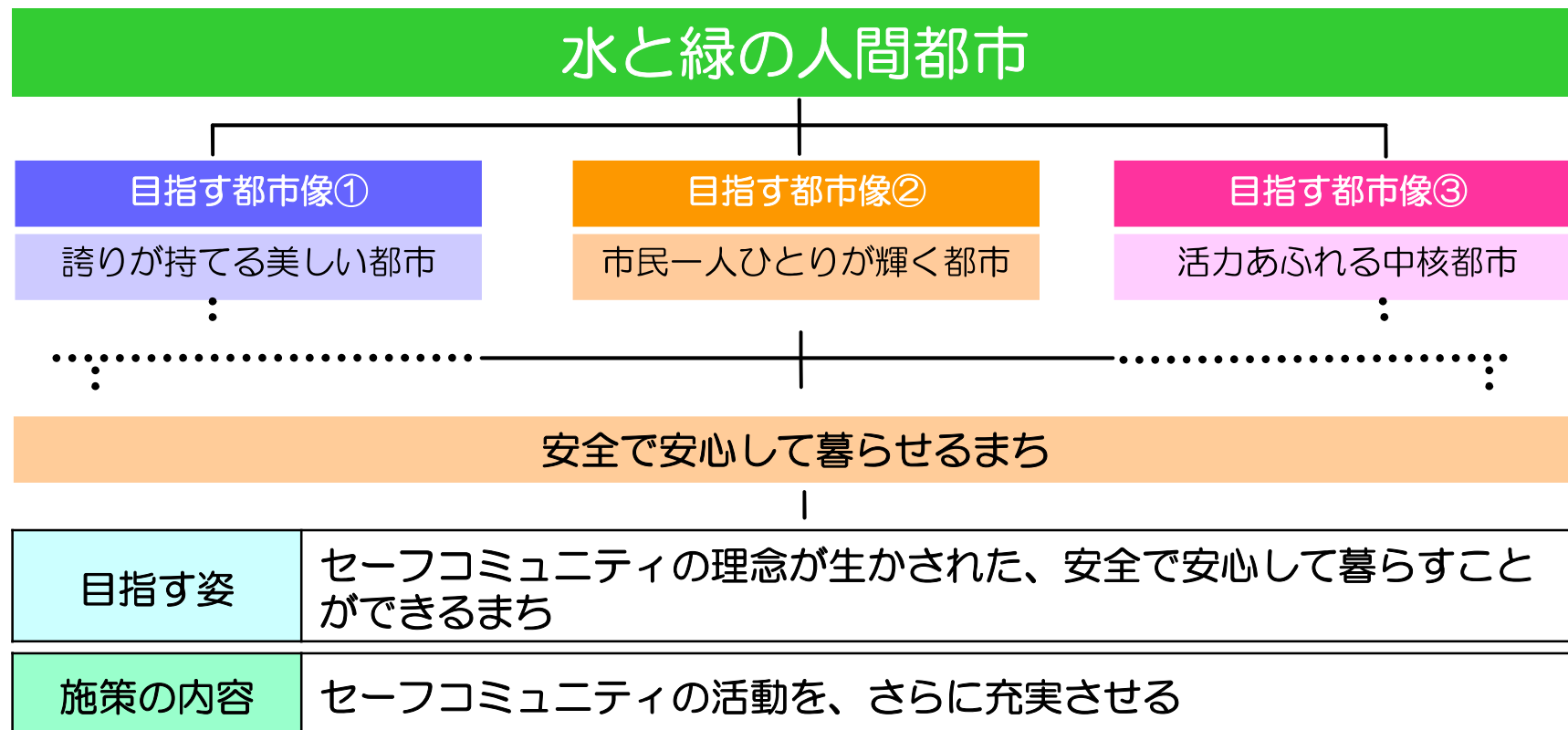


3-2.指標2全ての年齢・性別・環境・状況をカバーする長期的な仕組み



セーフコミュニティは、
久留米市新総合計画第4次基本計画に位置付けられた長期的な取組である。

久留米市新総合計画第4次基本計画の施策体系



3-3.指標2全ての年齢・性別・環境・状況をカバーする長期的な仕組み



		子ども	青 年	成 人	高齢者
不慮の要因	家庭	事故予防パンフレット 子育て相談 子ども子育てサポートセンター	子ども子育てサポートセンター	子ども子育てサポートセンター	位置情報検索サービス 住宅改造事業 緊急通報装置貸与
	学校	スクールカウンセラー等活用 子ども見守りパトロール 学校の安全アンケート	スクールカウンセラー等活用	教職員研修	
	職場		労働相談	労働相談	労働相談
	スポーツ 余暇	スポーツ講演会 公園等の遊具安全点検及び補修	スポーツ講演会 公園等の遊具安全点検及び補修	スポーツ講演会 公園等の遊具安全点検及び補修	スポーツ講演会 公園等の遊具安全点検及び補修
	交通 (公共)	交通安全教室 通学路の路側帯カラー舗装 ゾーン30の整備 自転車走行空間の整備	交通安全教室 バイク通学者への安全運転講習 ゾーン30の整備 自転車走行空間の整備	ゾーン30の整備 自転車走行空間の整備	シルバーセーフティスクール ゾーン30の整備 自転車走行空間の整備
	災害時	総合防災訓練 ハザードマップの公開 木造住宅の耐震改修補助	総合防災訓練 ハザードマップの公開 木造住宅の耐震改修補助	総合防災訓練 ハザードマップの公開 木造住宅の耐震改修補助	総合防災訓練 ハザードマップの公開 木造住宅の耐震改修補助 避難行動要支援者の個別支援
意図的	自殺	かかりつけ医うつ病アプローチ 研修会 ゲートキーパー養成講座 こころの相談	かかりつけ医うつ病アプローチ 研修会 ゲートキーパー養成講座 こころの相談 生活困窮者の自立相談	かかりつけ医うつ病アプローチ 研修会 ゲートキーパー養成講座 こころの相談 生活困窮者の自立相談	かかりつけ医うつ病アプローチ 研修会 ゲートキーパー養成講座 こころの相談 生活困窮者の自立相談
	犯罪・ 暴力	防犯ブザーの配布 女性相談 青色防犯パトロール 繁華街の防犯カメラ設置	女性相談 青色防犯パトロール 繁華街の防犯カメラ設置	女性相談 青色防犯パトロール 繁華街の防犯カメラ設置	女性相談 青色防犯パトロール 繁華街の防犯カメラ設置



3-4.指標3 ハイリスクの集団や環境に着目し、弱者を対象とした仕組み



ハイリスク グループ	① 子ども（虐待の対象となりやすい）
	② 女性（DV被害の対象となりやすい）
	③ 高齢者（虐待や転倒でケガしやすい）
	④ 自殺のおそれがある者
	⑤ 要援助者（自然災害でリスクが高い）
ハイリスク 環 境	① 浸水想定地域がある
	② 土砂災害危険地域がある



3-5.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
◆ 市内の交通事故発生件数(人口10万人あたり)は、福岡県、全国と比較して高い。 警察統計、交通安全対策委員会プレゼン資料2頁参照	交通安全
◆ 市内における自転車事故発生件数(人口10万人あたり)は、福岡県と比較して高い。 警察統計、交通安全対策委員会プレゼン資料24頁参照	
◆ 虐待を含む児童相談件数は増加している。 家庭子ども相談課統計、児童虐待防止対策委員会プレゼン資料2頁参照	子どもの安全
◆ 「子ども(小学生以下)を虐待しているのではないかと思うことがある」と回答した保護者が2割以上いる。 2008年 久留米市次世代育成支援に関するニーズ調査	
◆ 子どもが自宅以外でけがをした状況では、学校(屋外及び屋内)でのけがが11.8%と比較的多い。 2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査	



3-6.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
◆ 高齢者の半数以上は、転倒に不安を感じており、高齢者のケガの原因は、転倒によるもの(57.8%)が最も多い。 2011年 久留米市民のけがや事故などについての実態調査 高齢者の安全対策委員会プレゼン資料2頁参照	高齢者の安全
◆ 高齢者虐待相談・通報件数は、増減はあるものの増加の兆しを見せている。 長寿支援課統計	
◆ 被虐待者は認知症高齢者が多く、虐待事例の多くが同居の親族によるものである。 長寿支援課統計 高齢者の安全対策委員会プレゼン資料4頁参照	



3-7.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
◆ 人口10万人当たり刑法犯認知件数は、全国、福岡県と比較して高い。 警察統計 防犯対策委員会プレゼン資料2頁参照	犯罪・暴力の予防
◆ 女性からの相談の中でドメスティック・バイオレンス(DV)に関する相談の割合が高い。 男女平等推進センター統計 DV防止対策委員会プレゼン資料2頁参照	
◆ パートナーから何らかの暴力を受けたことがある女性は、国が約3割に対し、久留米市は約半数である。 2009年 年久留米市 男女平等に関する意識調査 DV防止対策委員会プレゼン資料2頁参照	



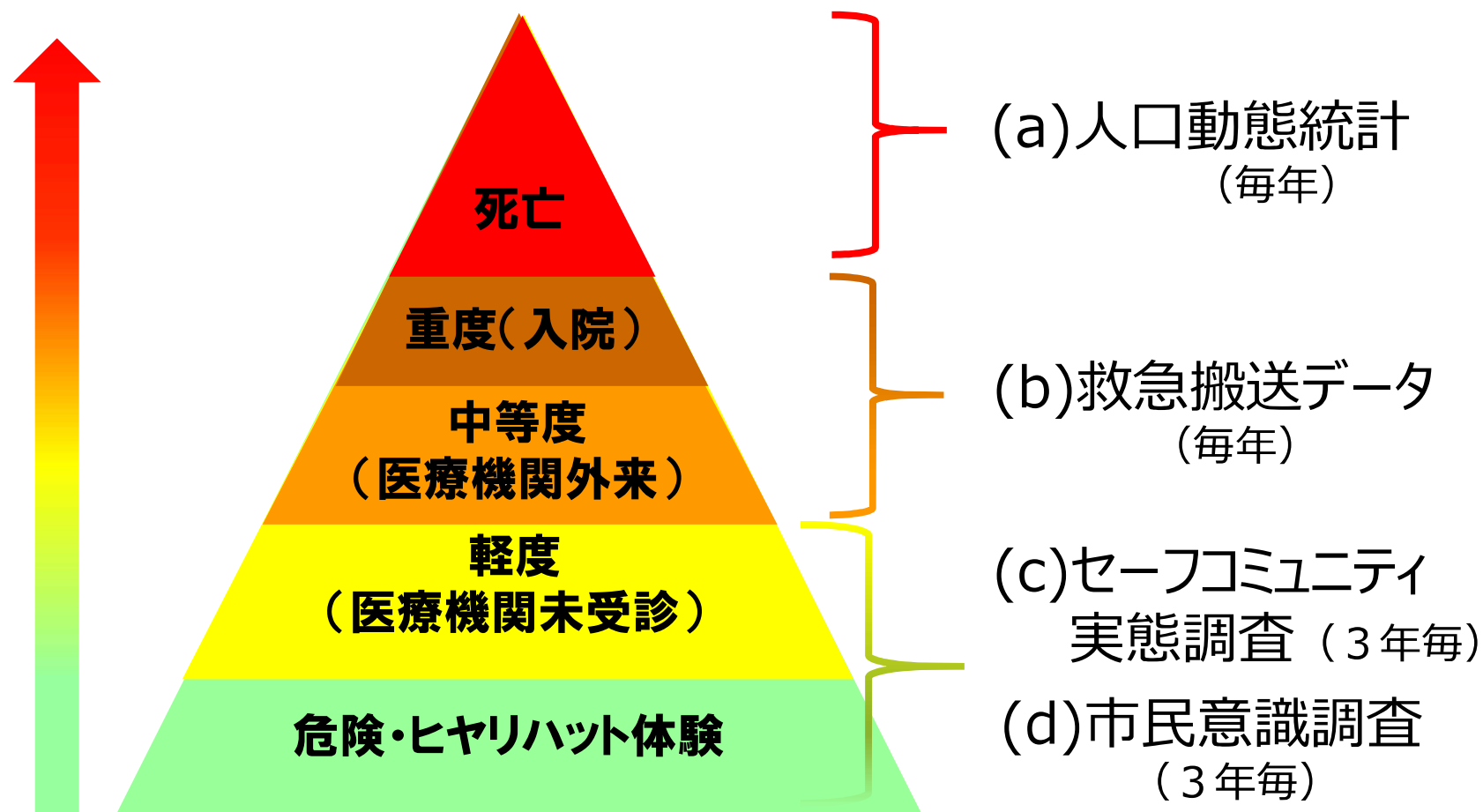
3-8.指標4 あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み



地域診断の結果	重点取組分野
◆ 病気を除いた死亡原因では、自殺が最も多い。 人口動態統計 外傷等動向調査委員会プレゼン資料13頁参照	自殺予防
◆ 人口10万人当たりの自殺者数を示す自殺率は、国、県と比較して高い。 人口動態統計	
◆ 自然災害(地震・台風)に対して、約8割の市民が不安を感じている。 2011年 久留米市民意識調査 外傷等動向調査委員会プレゼン資料2頁参照	防災
◆ 市民の半数近くが災害への対策を行っていない。 2011年 久留米市民意識調査 防災対策委員会プレゼン資料3頁参照	



3-9.指標5 外傷の頻度と原因を記録する仕組み



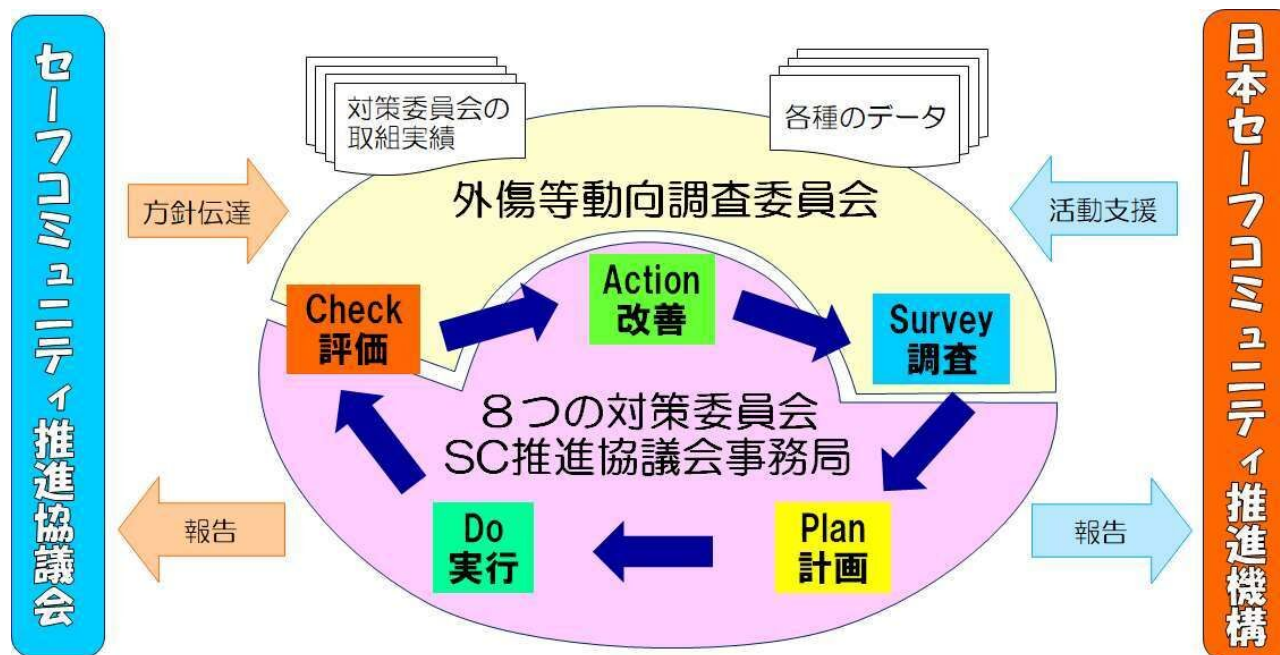
- データの収集は、外傷等動向調査委員会のプレゼンで詳しく説明します。



3-10.指標6 取り組みの内容・過程・成果を振り返る仕組み



各対策委員会の取組実績や、外傷等動向調査委員会が収集したデータを基に、推進体制全体で、取組を振り返っています。



- 各対策委員会は、重点課題に対する取組を振り返る。（各対策委員会プレゼンで報告）
- 外傷等動向調査委員会は、各対策委員会や推進協議会事務局の振り返りを支援する。（外傷等動向調査委員会プレゼンで報告）
- SC推進協議会は、全体を振り返る。
- JISCは、外部組織として支援を行う。



3-11.指標7 国内外のSCネットワークへの継続的な参加(2018年～)



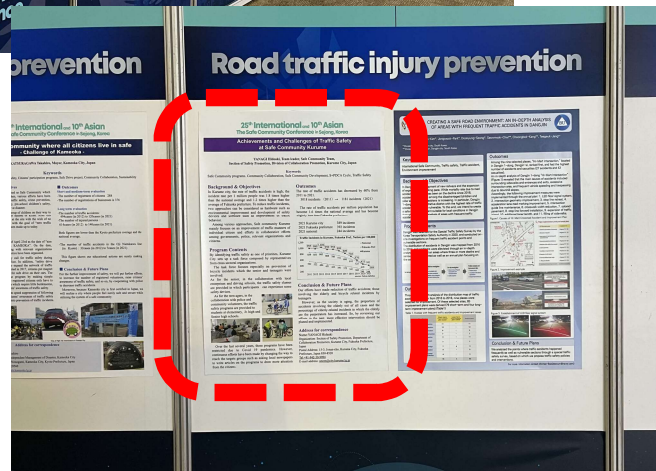
年 月	交流都市	内 容	年 月	交流都市	内 容
2018年2月	豊島区	再認証記念式典参加	2020年2月	十和田市	再々認証式典参加
2018年2月	郡山市	認証式典参加	2020年9月	タイ ナーン県	SCセミナー視聴
2018年6月	横浜市栄区	再認証現地審査視察	2020年11月	鹿児島市	再認証現地審査視察
2018年7月	亀岡市	再々認証現地審査視察	2020年11月	都留市	認証事前指導視察
2018年10月	横浜市栄区	再認証式典参加	2021年5月	都留市	認証現地審査視察
2018年11月	厚木市	第9回アジアSC会議参加	2021年6月	厚木市	再々認証現地審査視察
	亀岡市	再々認証式典参加	2021年7月	秩父市	再認証現地審査視察
	松原市	再認証式典参加	2021年12月	豊島区	再々認証事前指導視察
2018年12月	郡山市	SCフェスタ視察	2022年7月	豊島区	再々認証現地審査視察
2019年7月	さいたま市	認証現地審査視察	2022年9月	松原市	再々認証事前指導視察
2019年10月	鹿児島市	再認証事前指導視察	2022年10月	韓国 世宗市	第25回世界SC会議 第10回アジアSC会議参加 ポスター送付
2019年11月	さいたま市	認証式典参加			



3-12.指標7 国内外のSCネットワークへの継続的な参加(2018年～)



第10回アジアSC会議・ポスター展示



25th International and 10th Asian The Safe Community Conference in Sejong, Korea

Achievements and Challenges of Traffic Safety at Safe Community Kurume

YANAGI Hideaki, Team leader, Safe Community Team,
Section of Safety Promotion, Division of Collaboration Promotion, Kurume City, Japan

Keywords:

Safe Community programs, Community Collaboration, Safe Community Development, S-PCDA Cycle, Traffic Safety

Background & Objectives

In Kurume city, the rate of traffic accidents is high; the incident rate per 1 million people was 1.8 times higher than the national average and 1.2 times higher than the average of Fukuoka prefecture. To reduce traffic incidents, two approaches can be considered as hardware such as environmental improvement and development of safety devices and software such as improvement of traffic behavior.

Among various approaches, Safe community Kurume mainly focuses on an improvement of traffic manners of individual citizen and efforts in collaborative efforts among governments, police, relevant organizations and citizens.

Program Contents

By identifying traffic safety as one of priorities, Kurume City sets up a task force composed by representatives from cross sectoral organizations.

The task force focuses especially on prevention of bicycle incidents which the senior and teenagers were involved.

As for the senior, in the collaboration with local enterprises and driving schools, the traffic safety classes are provided in which participants can experience some safety devices.

As for the teen agers, in the collaboration with police and community volunteers, the traffic safety programs are provided to students at elementary, Jr. high and Senior high schools.



Over the last several years, those programs have been restricted due to Covid 19 pandemics. However, continuous efforts have been made by changing the way to reach the targets groups such as asking local newspapers to write articles on the programs to draw more attention from the citizens.

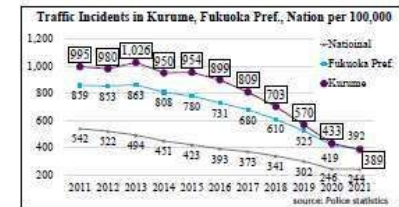
Outcomes

The rate of traffic accidents has decreased by 60% from 2011 to 2021.

3018 incidents (2011) → 1181 incidents (2021)

The rate of traffic accidents per million population has become 1.6 times the national average and has become slightly less than Fukuoka prefecture.

2021 Kurume city	389 incidents
2021 Fukuoka prefecture	392 incidents
2021 national	244 incidents



Conclusion & Future Plans

Our efforts have made reduction of traffic accidents; those involving the elderly and bicycle related incidents by teenagers.

However, as the society is aging, the proportion of accidents involving the elderly out of all cases and the percentage of elderly-related incidents in which the elderly are the perpetrators has increased. So, by reviewing our efforts in the past, more effective intervention should be planned and implemented.

Address for correspondence

Name: YANAGI Hideaki
Organization: Section of Safety Promotion, Department of Collaboration Promotion, Kurume City, Fukuoka Prefecture, Japan
Postal Address: 15-3, Jonan-cho, Kurume City, Fukuoka Prefecture, Japan 830-8520
Tel: +81-942-30-9094
E-mail address: anzen@city.kurume.lg.jp



4 セーフコミュニティの啓発活動

- セーフコミュニティは重点分野だけではない。
- セーフコミュニティの考え方が、広く市民に浸透することが大切
- 啓発に力を入れる必要がある。



くまっほ

くるめ¹³ 学生通信

石川立大学主が、各場所の仕事を
教訓し、学生と親しく接するシリーズです。
恒に開催 (☎ 0542-30-8119、
☎ 0542-30-8700)

今回は、私たちがレポートします

左から
石川立大学

右から
石川立大学

右から
石川立大学

教えてセーフコミュニティ

セーフコミュニティシリーズ
 広がる安全安心の輪

1

を挙げて
防災訓練を実施

◆ 冒険に出かけた
したことは
冒険の準備には
なかりました。

広がる
安全安心の

広がる
安全安心の輪

インタビュー
 所属校 区
 たねん塾 O B 会
 代表 坂口幸雄さん

 広がる
安全安心の輪

広がる
全安心の輪 6

子どもを
防犯員回り

医療関係者がDV対策に一役

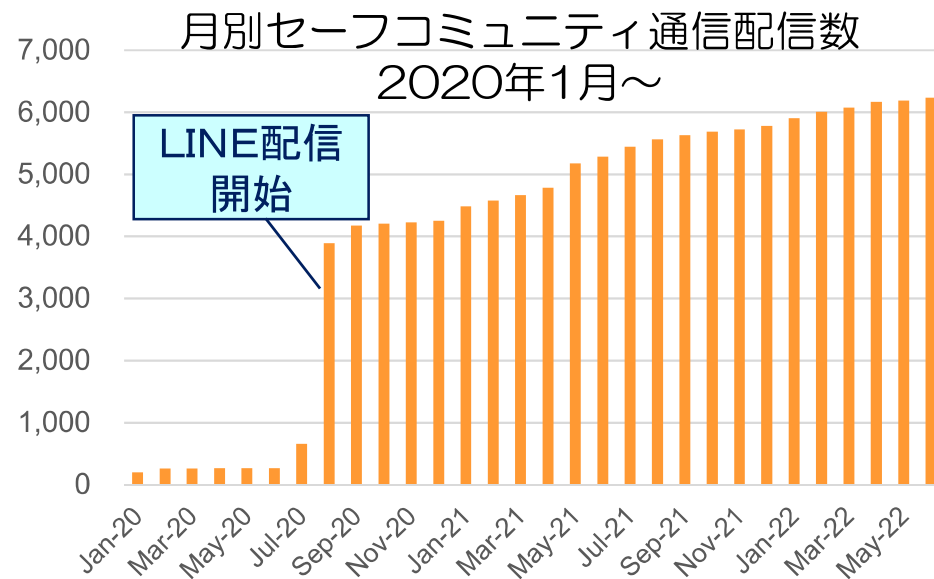
交通安全の
取り組み

3 インタビュー
動 倉山校区
防災安全対策委員会

4-2.セーフコミュニティの啓発活動



月刊セーフコミュニティ通信 2015年8月～



2022年4月号

HP掲載に加え、メール等で直接配信

データを示した啓発

2022年4月号では、小学1年生の事故の特徴を示し、ドライバーに注意を呼びかけた。

～みんなで取り組む安全安心まちづくり～

セーフコミュニティ通信 No.81 R4.4

データで傾向を知って事故予防

はこうちゅう しょう がく せい こうつう じこ まも
歩行中の **小学生** を交通事故から守ろう!

過去5年間の交通事故の月別データ※から、小学生の**歩行中の交通事故が5月・6月に増加する傾向**がみえてきます。特にどのようなことに気をつけたら良いのか、事故の特徴を知り、安全確認に活用しましょう。

※福岡県警察統計（平成23年～令和3年迄）

【小学生】歩行中の事故類型別死者・重傷者数（福岡県過去5年）

【「横断中」の事故が多い】
【小学生】歩行中の事故類型別死者・重傷者数（福岡県過去5年）

【「小学1年生」の事故が多い】
【小学生】歩行中の事故類型別死者・重傷者数（福岡県過去5年）

【発生時刻別】小学1年生の歩行中交通事故死者数（福岡県過去5年）

小学1年生は、「登校・下校・放課後」の時間帯に事故が多い
半数以上が15時台～17時台

子どもたちの安全を守るため、校区ごとに、保護者や地域の方が見守り活動をされています。
運転者の皆さんも、**子どもたちを見守る気持ち**で運転しましょう。

発行元 久留米市セーフコミュニティ推進協議会
(事務局：久留米市協働推進部 安全安心推進課)
〒830-8520 久留米市福岡町 15-3
TEL：0942-30-9004 FAX：0942-30-9706
E-mail: arisan@city.kumamoto.jp

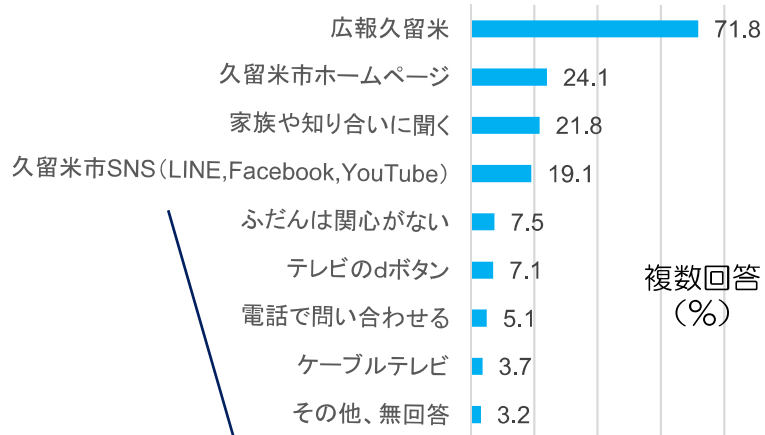
久留米市セーフコミュニティでは、重点取組の一つとして「交通安全」に取り組んでいます。

4-3.セーフコミュニティの啓発活動



久留米市公式YouTubeの動画配信

久留米市に関する情報の入手先
2021年セーフコミュニティ実態調査



市民の情報の入手先として上位の、SNSを活用した発信を強化



2022年4月の配信では、救急搬送の原因の上位を示し、転倒の予防を呼びかけた。

4-4.セーフコミュニティの啓発活動



市民の皆さんによる参加（体験型）の啓発

セーフコミュニティ標語募集チラシ

くろめ 久留米の「安全・安心 あいことば」

セーフコミュニティ 標語募集

2022年7月1日~9月30日

「けがや事故の予防策」や「安全安心のまち久留米」を標語にして応募してね！
あなたの言葉で久留米を安全安心にするっば！

くろめ 久留米は、安全安心まちづくり「セーフコミュニティ」の国際認証都市です

けがや事故とみんなで予防するっば！

久留米市ホームページ「セーフコミュニティ情報」

そのほか 身近な安全

交通安全 犯罪・暴力の予防 高齢者の安全 防災

2022 総デザイン やさしい 手ざわり

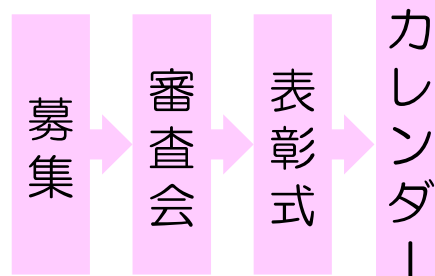
応募資格 久留米市にお住まいの方 または通勤・通学している方

応募方法 応募用紙に記入し、持参・郵送・FAXで裏面の応募先まで
左上のQRコードからインターネット（電子申請）でも応募できます

※最優秀賞1点、優秀賞11点を選出し、令和4年12月17日(土)に表彰式を開催予定
※入選作品は、セーフコミュニティの啓発に使用します

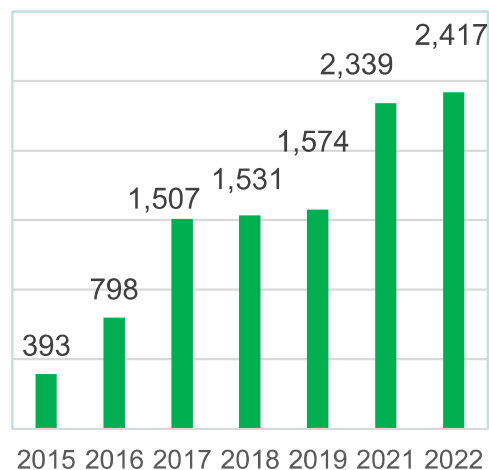
みんなて取り組む安全安心まちづくり セーフコミュニティ くろめ

標語表彰式



SCカレンダー

セーフコミュニティ標語の 年度別応募作品数



住みやすさ日本一 ずっと安全 もっと安心

セーフコミュニティ くろめ

どうしたの その一言が うれしいな

船越小学校5年 今村 天春さん

この標語は、令和3年度セーフコミュニティ標語優秀作品です

2022 5 May

みんなて「けがや事故」を予防して 安全・安心なまち久留米をめざしましょう

TEL:0942-30-0094 FAX:0942-30-9700

4-5.セーフコミュニティの啓発活動



色々な場面でセーフコミュニティを紹介



水の祭典での
パレード



ドリームスFM出演



SC出前講座



青パトボディパネル



ロールスクリーン



SC反射ストラップ





5 これまで取り組みの成果



5-1.これまでの取り組みの成果



重点取り組み分野

重点取り組み項目

1

交通安全

- ・高齢者の交通事故防止
- ・自転車事故の防止

2

子どもの安全

- ・児童虐待の防止
- ・学校の安全

3

高齢者の安全

- ・転倒予防
- ・高齢者虐待の防止

4

犯罪・暴力の予防

- ・犯罪の防止・防犯力の向上
- ・DV防止・早期発見

5

自殺予防

- ・自殺・うつ病の予防

6

防災

- ・地域防災力の向上



5-2.これまでの取り組みの成果



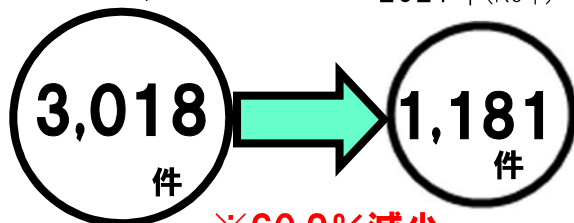
重点取組分野に関連するデータの推移①

交通安全

【交通事故件数】

2011年(H23年)

2021年(R3年)



出典:警察統計



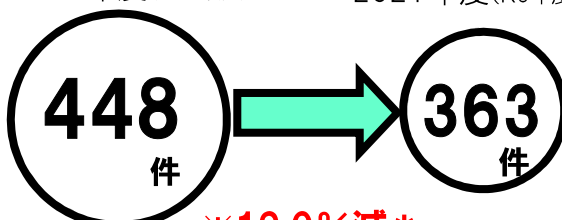
まうり米久留米

子どもの安全

【18歳以下の外因による救急搬送件数】

2011年度(H23年度)

2021年度(R3年度)



出典:救急搬送データ

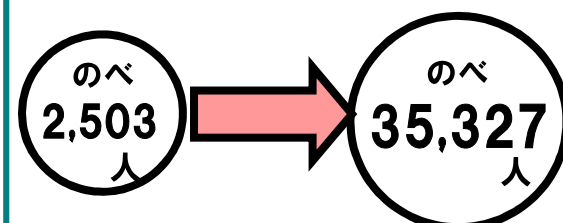


高齢者の安全

【認知症サポーター養成講座受講者数】

2011年度(H23年度)

2021年度(R3年度)



出典:長寿支援課統計



5-3.これまでの取り組みの成果



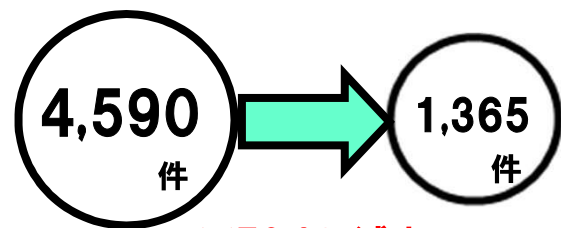
重点取組分野に関連するデータの推移②

犯罪・暴力の予防

【一般刑法犯の認知件数】

2011年(平成23年)

2021年(R3年)



※70.3%減少

出典:警察統計

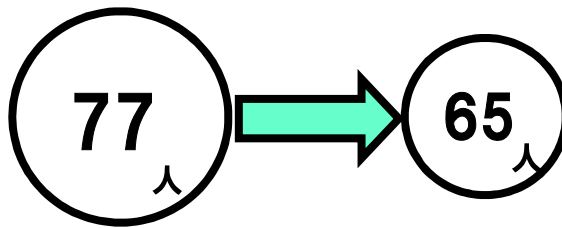


自殺予防

【自殺者数】

2011年(H23年)

2020年(R2年)



出典:人口動態統計

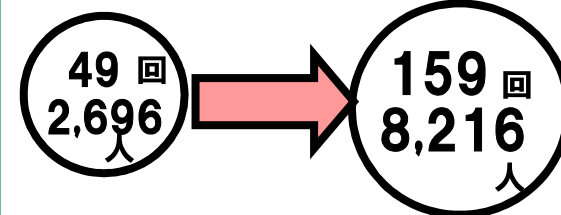


防災

【自主防災訓練の回数・参加者数】

2011年度(H23年度)

2019年度(R1年度)



※3.0倍に増加(参加者数)

2020年度以降は、コロナ禍により、実施回数が減少

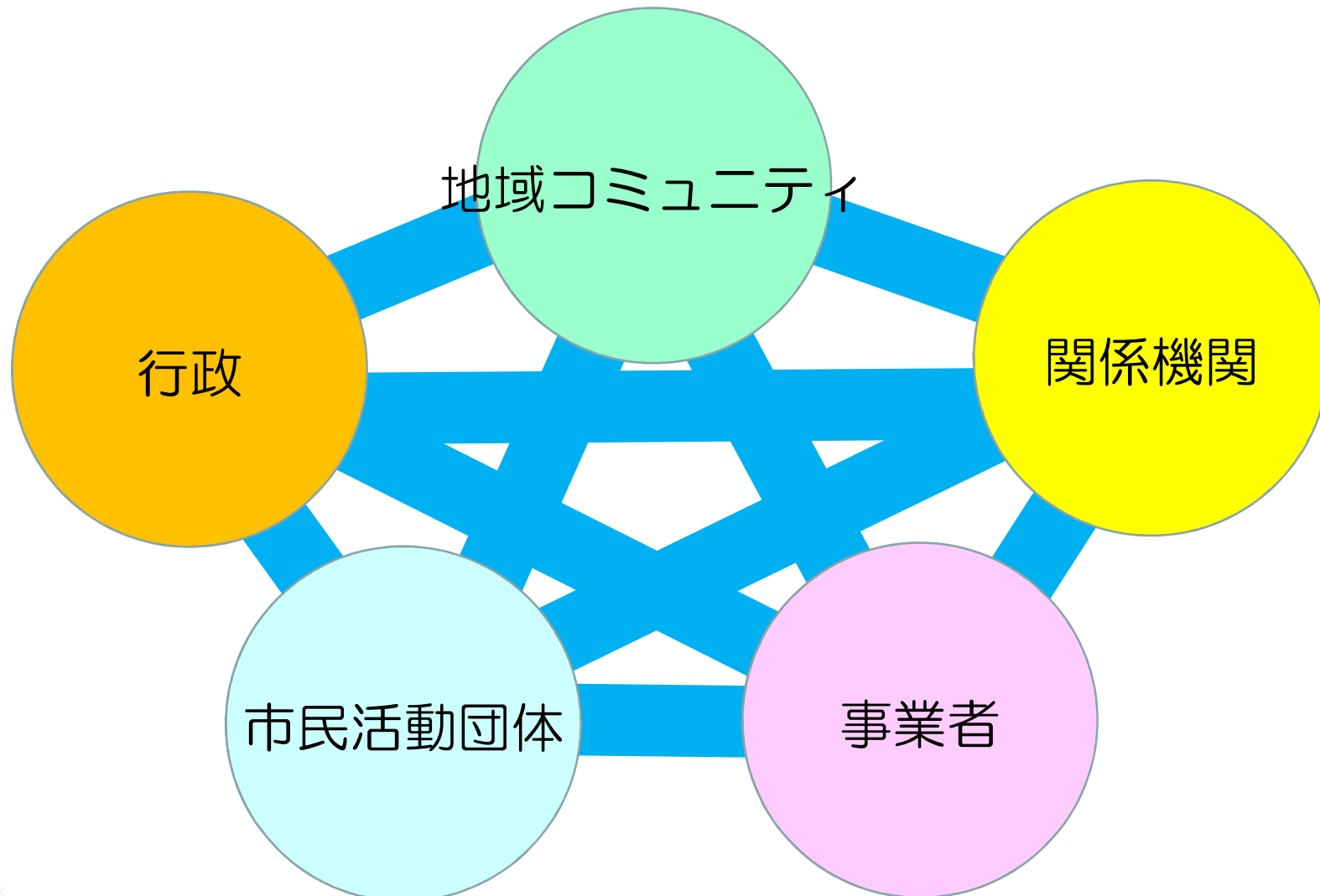
出典:防災対策課統計



5-4.これまでの取り組みの成果



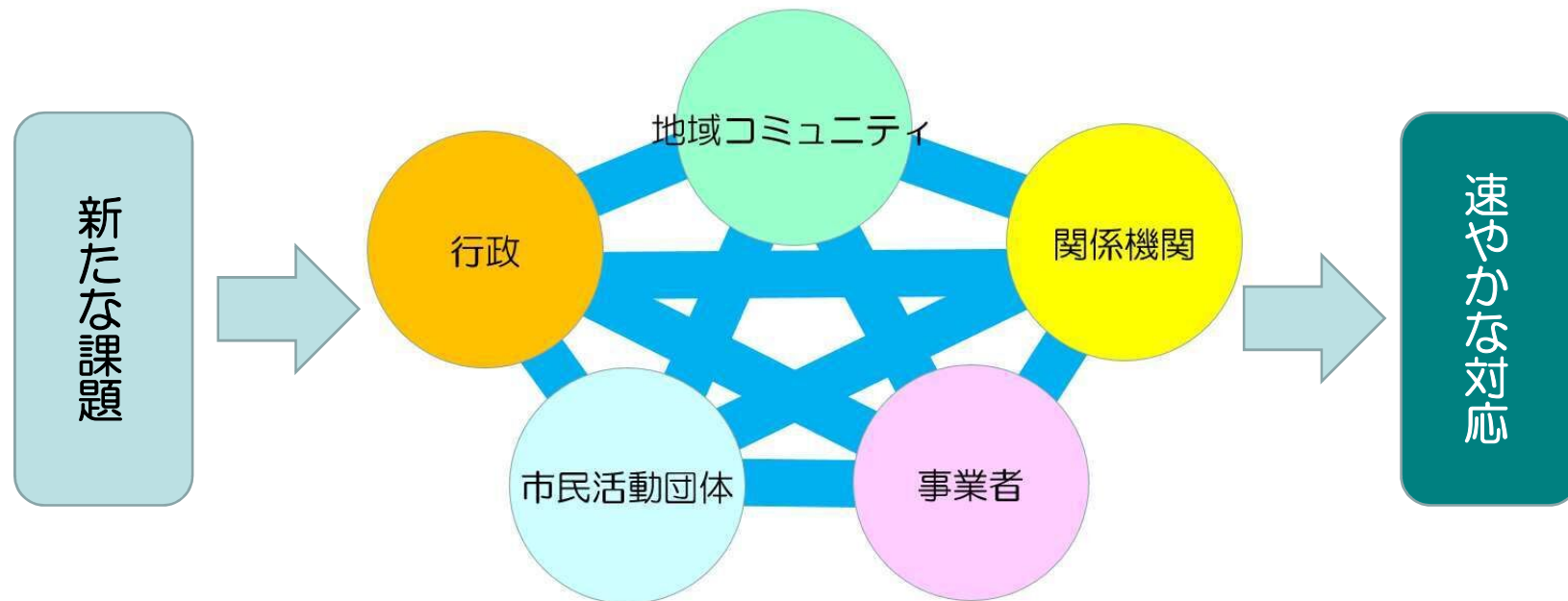
「協働」の見える化



5-5.これまでの取り組みの成果



「協働」を基盤とした新たな課題への対応



例えば・・・

新たな犯罪である「二重電話詐欺」に対して、警察、市、地域が連携し、青パトを活用した注意喚起を行う体制を速やかに構築

セーフコミュニティの重点取組以外でも・・・

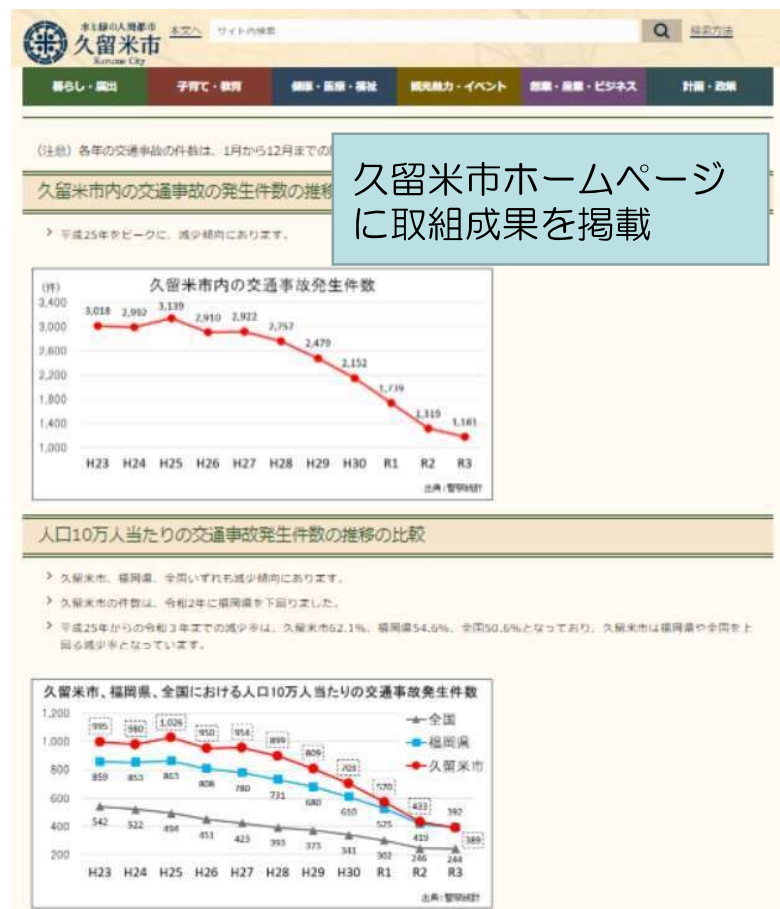
医師会と連携した新型コロナウイルス感染症予防接種の速やかな実施



5-6.これまでの取り組みの成果



安全安心に関するデータの蓄積と見える化



「予防」の大切さを訴えるには、取組成果の周知が必要！

5-7.これまでの取り組みの成果



全国暴力追放 功労団体表彰受賞

久留米市暴力追放推進協議会は、これまでの多年にわたる取り組みが評価され、功労団体として表彰されました。

授賞式は、令和3年11月25日、明治記念館（東京都港区）で行われた全国暴力追放運動中央大会（警察庁、全国暴力追放運動推進センター 主催）のなかで執り行われ、協議会会長である大久保勉市長が出席しました。



この度、久留米市暴力追放推進協議会は、『久留米市暴追協通信』を発刊いたします。校区の皆様の暴追運動に役立てていただけるような情報を発信します。校区での活動にご活用ください。

許すな暴力。No! 守ろう安全。
久留米市暴追協通信

2021.12.1
No. 01

暴力団事務所の開設禁止場所が拡大！

福岡県暴力団排除条例改正

暴力団事務所の新規開設が禁止される場所が拡大しました。

年末年始に向け

久留米警察署は、人流が増加して特別警戒を実施します。「年末年始特別警戒出陣式」が道銀メダリストの篠原信一氏も区ボランティアなど総勢100名

本通信に掲載されている記事、写真は校区で使用される場合は、事前に暴追協事務局までご連絡ください。

みんなで取り組む安全安心まちづくり

セーフコミュニティ通信

号外 R4.9

久留米市が 交通安全功労者として 内閣府から表彰を受けました！

内閣府では、交通安全の確保及び交通安全思想の普及に貢献し、顕著な功績のあった個人、団体、市区町村を毎年、交通対策本部長（内閣府特命担当大臣）が表彰しています。

このたび、市区町村の部として「久留米市」が受賞しました。

福岡県内からの市区町村の部の受賞は、平成13年以来、21年ぶりです。



受賞のポイント



セーフコミュニティ通信

これまで

入、路肩カラー塗装、等を整備・更新。

っています。

TEL: 0942-30-9094 FAX: 0942-30-9706
E-mail: anzen@city.kurume.lg.jp

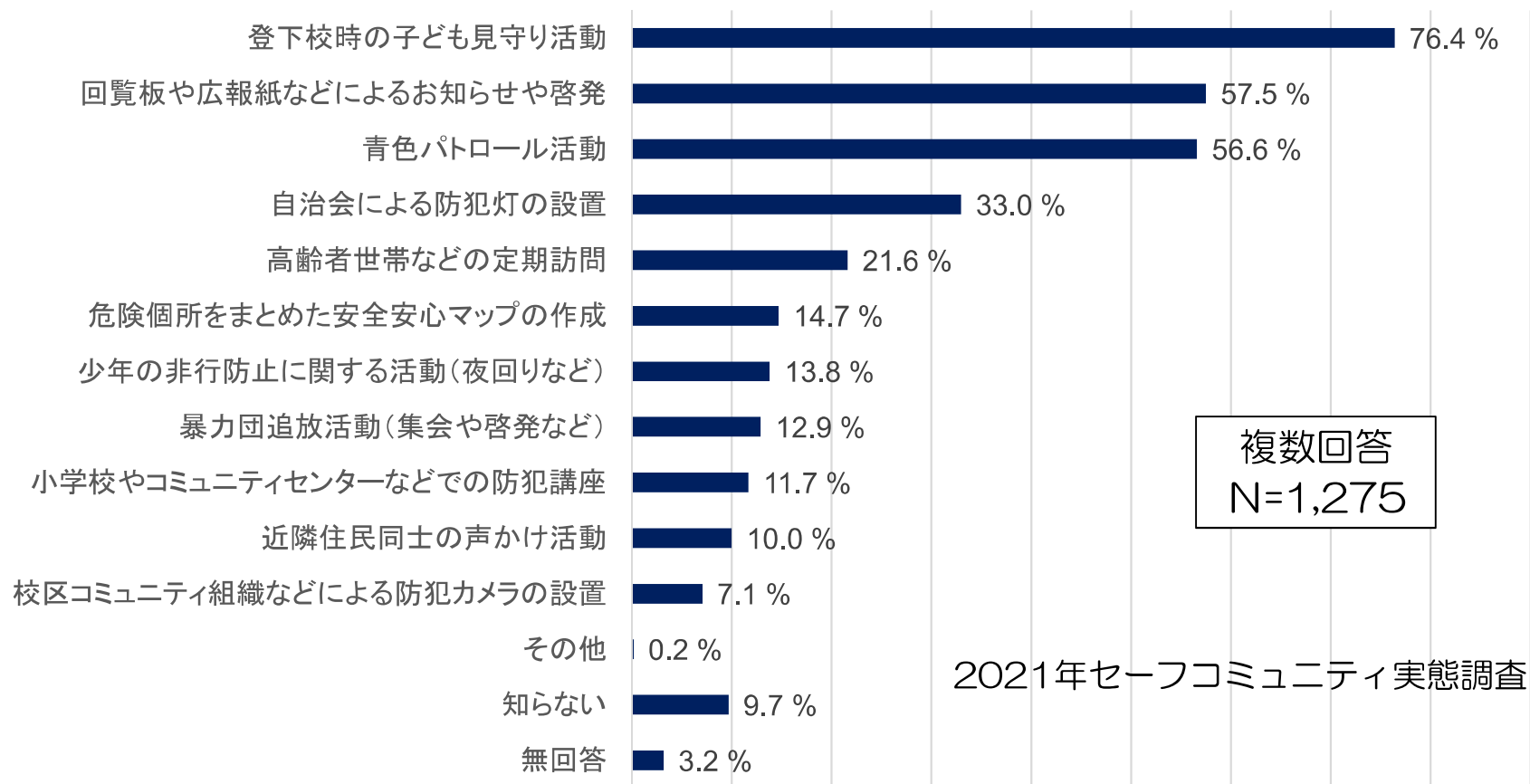
セーフコミュニティの取組が、
2つの全国的な功労表彰を受けました。

- ◆ 全国暴力追放功労団体表彰(2021年)
- ◆ 交通安全功労者表彰(2022年)

5-8.これまでの取り組みの成果



Q：あなたは、お住まいの地域で行われている防犯活動を知っていますか？



セーフコミュニティの取組の中には、市民に浸透しているものがある。

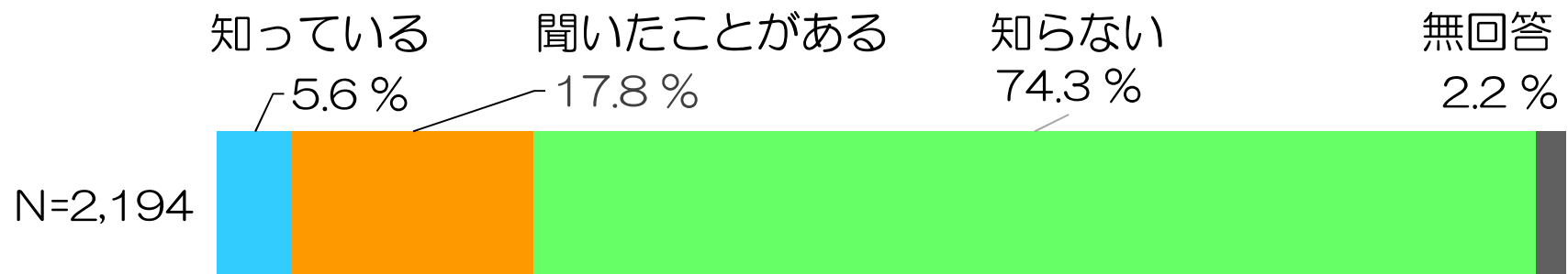


5-9.これまでの取り組みの成果



良く知られている取組がある一方で・・・

Q：あなたは、久留米市がセーフコミュニティ国際認証を取得して
「安全安心のまちづくり」に取り組んでいることを知っていますか？



2021年 久留米市民意識調査

情報発信の工夫が必要 ⇒ これからの課題

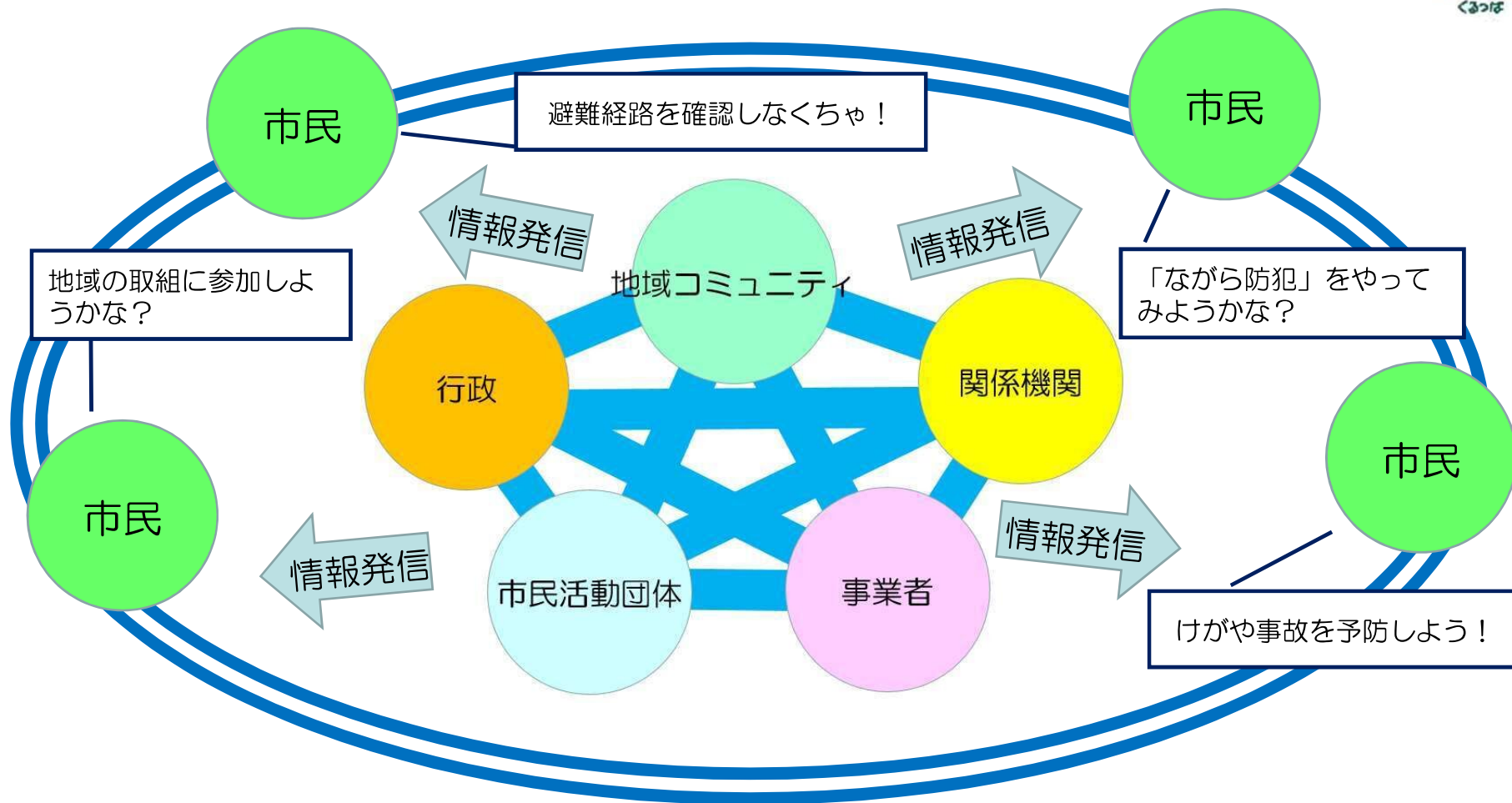




6 これからの課題



6-1.これからの課題



もっと安全で安心な久留米をめざして、
広げよう、「協働」の輪！



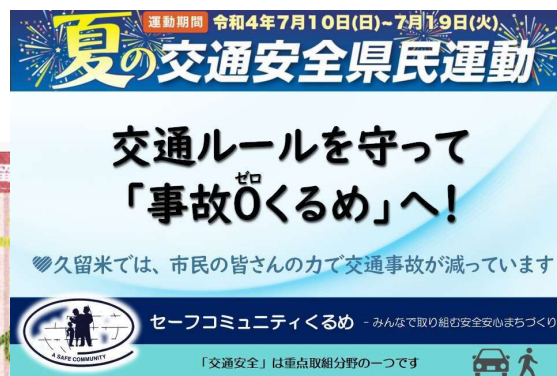
6-2.これからの課題



セーフコミュニティの見える化の充実

これまでの成果である、「協働の見える化」と、
「安全安心に関するデータの見える化」をもっと活かす工夫が必要。

- ◆ 市民参加型のSNSの活用
- ◆ 久留米市が持つ媒体に限らず、地域や関係機関の情報媒体やイベントの活用
- ◆ 地域コミュニティや事業者団体などへの呼びかけ など



6-3.これからの課題

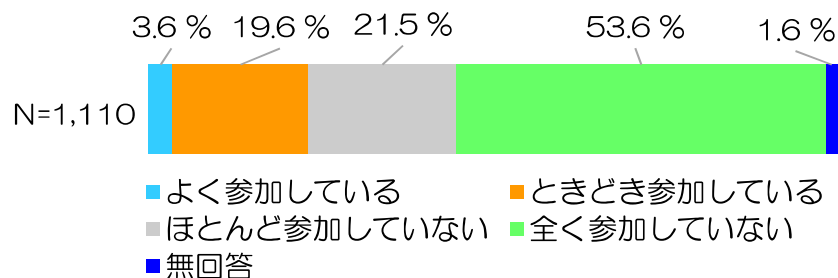


市民参画の拡大

もっと安全で安心な久留米を目指し、協働の輪を広げるため、市民参加を拡大するための工夫が必要。

- ◆ 「短時間でできる活動」や、「ながら活動」の周知
- ◆ 地域の安全安心活動の体験プログラムの実施 など

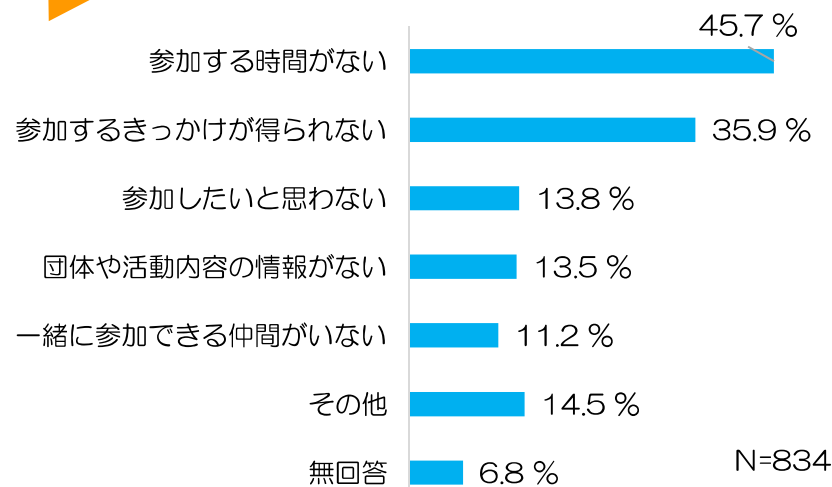
Q：あなたは地域の防犯活動に参加していますか？



「全く参加していない」= 53.6%

「ほとんど参加していない」= 21.5%

Q：参加していない理由は何ですか？



2021年セーフコミュニティ実態調査



みんなで取り組む安全安心まちづくり



久留米市イメージキャラクター
「くるっぱ」

ご清聴ありがとうございました。

